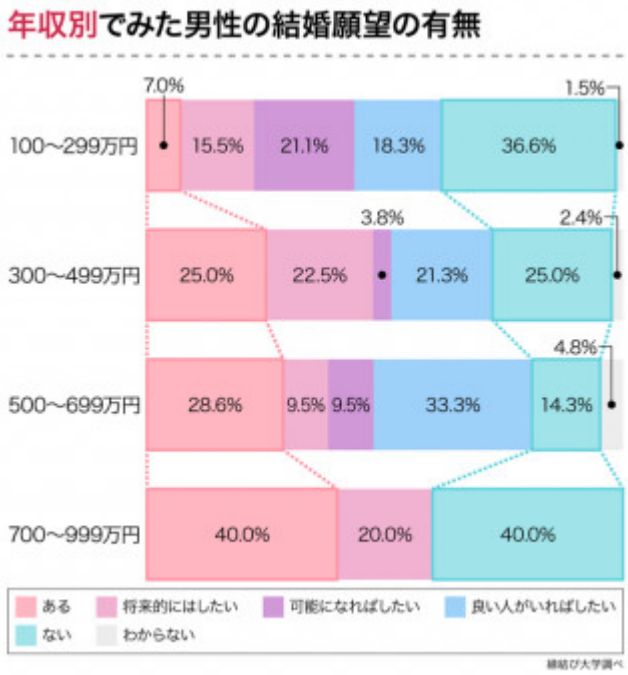
独身男性177名にアンケート！年収で異なる「結婚したくない理由」と「結婚したい女性の条件」



近年、日本では男性の生涯未婚率が上がっています。生涯未婚率とは国が調査するもので、５０歳の時点で一度も結婚の経験がない人がどのくらいいるのかを示したものです。男性の生涯未婚率は２０００年以降に著しく上昇しており、１９９０年には男性５．６％、女性４．３％だったのに対し、２０２０年は男性２５．７％、女性１６．４％となっています（※1）。わずか３０年で２０．１ポイントも上昇した男性の生涯未婚率。これには何が起因しているのでしょうか。

２０１７年の出生動向基本調査（※2）では、結婚の障害として「結婚資金」を挙げた人がもっとも多く、男性４３．３％、女性４１．９％となっています。これらのデータを見ると、独身男性にとって「結婚するかどうか」は経済的な要素が大きく影響していると言えそうです。

そこで今回、株式会社ネクストレベル（本社所在地：神奈川県横浜市、代表取締役：田中大洋）が運営する縁結び大学（https://jsbs2012.jp/date/
）では、独身男性１７７人にアンケート調査を行い、男性の年収と結婚願望の有無に関係があるのかを調べてみました。「結婚願望のない男性」を彼氏に持つ女性は、この記事から彼の結婚に対する本音を見極め、次にどう行動するべきかを考えるヒントにしてもらえばと思います。

（※1）厚生労働省「５０歳時の未婚割合の推移」より
https://www.mhlw.go.jp/stf/wp/hakusyo/kousei/18/backdata/02-01-01-02.html
（※2）第15回出生動向基本調査
https://www.ipss.go.jp/ps-doukou/j/doukou15/NFS15_reportALL.pdf

年収が高い男性ほど「結婚願望がある」人が多い

男性の年収別に「結婚したいと思うかどうか？」をアンケート調査した結果が以下のグラフです。

男性の年収別に「結婚願望があるかどうか」を調査してみると、男性の年収による違いが見られました。

結婚願望は、年収１００～２９９万円の男性は７．０％が「ある」と回答。３００～４９９万円の男性では２５．０％、５００～６９９万円の男性では２８．６％、７００～９９９万円の男性では４０．０％の男性が結婚願望が「ある」と答えています。

結婚願望が「ない」と回答したのは、年収１００～２９９万円の男性が３６．６％と最も多く、３００～４９９万円の男性で２５．０％、５００～６９９万円の男性で１４．３％と、年収が上がるごとに結婚願望がない男性の割合は低くなっています。

これらのアンケート結果から、年収が高いほど結婚願望が高い人が多く、年収が低いほど結婚願望がない人が多い傾向にあることがわかりました。

７００～９９９万円の男性に関しては結婚願望が「ない」割合が増えており傾向が異なるように見えますが、そもそも対象者が５名と少ないことから傾向として読めない点もあるといえるでしょう。

結婚願望がない理由は年収によって傾向が異なる
それでは、男性が結婚に前向きになれない理由は何でしょうか？前の質問で「結婚願望がない」と回答した人にその理由について聞いてみました。

もっとも多かった理由は「自由な時間が減るから」で２３．４％でした。次いで「家庭に責任を持てない」「経済的に家族を養えない」が同率１７％です。この結果だけ見ると、経済的な理由よりも自由を失うリスクのほうを懸念しているように思えます。

ただし結婚に前向きになれない理由を年収別で比較してみると、傾向が大きく異なることが分かりました。

年収１００　２９９万円の男性でもっとも多かった理由は、２５％と４人に１人が選択した「経済的に家族を養えない」です。次に多かったのが同率２０．８％で「自由な時間が減るから」「家庭に責任を持てない」でした。やはり年収１００　２９９万円の男性は、経済的な理由で結婚に対して二の足を踏む人が少なくないようです。

年収３００　４９９万円の男性で多かったのは、１位が「自由な時間が減るから」（２６．３％）、２位が同率１５．８％で「お金を自由に使えなくなるから」「結婚が良いと思えない」です。
年収１００　２９９万円と違い、自由を失うことを結婚のデメリットと感じている様子が読み取れます。

年収５００　６９９万円の男性に関しては、「家庭に責任を持てない」「お金を自由に使えなくなるから」の２つに意見が分かれ、ともに１位の５０％でした。年収５００万円以上であれば、一般的には高収入の部類に入る男性です。ある程度責任のある役割を担い仕事をしている人も少なくないでしょう。
そういった責任感のある男性が多いからこそ、「もっと自由でいたい」という希望に反して家庭に責任を持つことに負い目を感じる人が多いのかもしれません。

また年収７００　９９９万円の男性についても「自由な時間が減るから」「趣味の時間を持ちたいから」の２つの意見に分かれました。対象者が少ないため偏りがあることは否めませんが、金銭的な理由はいっさいなく、自由や時間が理由で結婚に否定的である人が多い傾向がうかがえる結果です。

またどの年収帯でも「束縛されたくない」「仕事を優先したい」「子どもが欲しくない」という理由を選択した男性はいませんでした。これらは、結婚に前向きになれない一番の理由にはなりにくいようです。

次に、
結婚願望のない男性にアンケートした「結婚に前向きになれない理由」と「結婚したい女性の条件」から、年収別の「理想の女性像」を考えてみました。

年収１００　２９９万円男性の４人に１人が「高収入の女性」と結婚したい

年収１００　２９９万円の男性が結婚願望がない理由で多かったのが「経済的に家族を養えない」「自由な時間が減るから」と「家庭に責任を持てない」でした。
結婚するとさまざまな責任が生じますが、その中でも特に経済的な負担は大きいものです。年収が１００　２９９万円の場合、月々に使用できるお金は最大でも２０万円ほどです。不可能ではなくとも、家族を養っていくには自信がないと感じてしまうのも無理はないのかも知れません。

また、年収１００　２９９万円の男性が求める女性の条件で１位に挙がったのが「年収が高い女性」で、２４．０％でした。経済的な理由が「結婚したくない」理由であるならば、うなづける結果です。
１００～２９９万円の男性と結婚を望むのなら、「私が大黒柱になる！」くらいの意気込みを持つと、男性も結婚に前向きになってくれるかも知れません。

年収３００～４９９万円男性が求める結婚相手は「お金・時間を束縛しない女性」

年収３００～４９９万円の男性が結婚願望のない理由として最も多く挙げたのが「自由な時間が減るから」で、次に多かったのが「お金を自由に使えなくなるから」「結婚が良いと思えない」でした。

年収３００～４９９万円の男性が結婚したい女性の条件に関しては、１位の「束縛しない」が３１．３％、２位が「互いに干渉しない」２２．０％で、「干渉されたくない」という２つの回答の

合計は５３．３％です。
また３位は「逆玉に乗れる」の１３．１％だったことを考えると、３００～４９９万円の男性の結婚に対する気がかりはお金と時間だと言えそうです。

年収３００～４９９万円の男性と結婚したい女性は、できるだけ彼に干渉せず、彼が自由に使えるお金を確保してあげるよう心がけると良いでしょう。この２つを満たしてあげることで、少しは彼も結婚に前向きになってくれるかもしれません。

年収５００～６９９万円男性は「経済的・精神的に自立した女性」と結婚したい

年収５００～６９９万円の男性では、結婚願望がない理由の１位は「お金を自由に使えなくなるから」と「家庭に責任を持てない」で、それぞれ５０％と同ポイントでした。またこの年収の男性が女性に求める条件は、「互いに干渉しない」「週末婚である」「財布が別」が３３．３％で同率１位でした。

５００～６９９万円の年収は男性の平均年収と同等か少し上回る程度です。家族を養えない収入ではありませんが、男性の収入のみで家計を支えていく場合には、自由に使えるお金が十分にあるとは言えないかもしれません。また、結婚に前向きになれない理由や女性に求める条件から、自由を追い求める傾向が強いことが読み取れます。

年収５００　６９９万円の年収の男性と結婚したい女性は、自分自身もある程度収入があり、財布を別にするか、夫が自由に使えるお金を増やしてあげることできる経済力が必要になりそうです。また、精神的な自立も必要といえるかもしれません。

年収７００～９９９万円男性は「趣味に理解」「気を使わない」女性が条件

年収７００～９９９万円の男性の結婚願望がない理由の１位は、「自由な時間がなくなるから」と「趣味の時間を持ちたいから」でした。この年収になると経済的には平均以上で、家庭への責任の心配はないのかも知れません。

また、７００～９９９万円の年収を得る男性の場合、マネジメント能力に長けている人が多いと予想されます。さらに結婚に対して消極的な理由として「時間と趣味」を挙げている点を踏まえると、自分の時間とお金は自分で管理し趣味も充実させたい傾向が強いと言えそうですね。

この年収の男性には、結婚後は「お財布は別」にして彼の収入は彼自身で管理してもらい、自由にできる趣味の時間をしっかりと設けてあげるとよいかも知れません。

彼女からのプロポーズ、年収の高い男性ほど結婚に前向き！
現在交際相手のいる独身男性に、「もし彼女から結婚したいと伝えられたらどうしますか？」という質問をしたところ、こちらも男性の年収によって傾向に違いがみられました。

「喜んで結婚する」「結婚について前向きに考える」という回答がもっとも多かったのは、合計が１００％だった年収７００　９９９万円の男性です。そのあとは１００　２９９万円（６３．７％）、５００　６９９万円（３８．５％）、最後に３００　４９９万円（３８．２％）と続きました。

年収７００～９９９万円の男性は、結婚に対する不安要素が少なく結婚に前向きな人も４０％と少なくないため、女性からのプロポーズに関しても成功率が高くて当然といえそうです。

年収１００～２９９万円の男性に関しては、前述の「結婚したいと思うかどうか？」の質問で「はい」と回答した人が７．０％ともっとも割合が少なかったですが、彼女からプロポーズされれば結婚を前向きに考える人は少なくないことが分かりました。

年収３００～４９９万円と年収５００～６９９万円の男性に関しては、「状況が許せば結婚したい」という意見が他の年収よりも多い結果でした。結婚に前向きとまではいかないまでも、女性からプロポーズされれば結婚を考えなくもないということかも知れません。
年収３００～６９９万円の男性と結婚したい女性は、どの条件が揃えば彼が結婚に前向きになってくれるのかをリサーチしておくことで、もしかすると結婚への道が開けるかも知れませんね。

まとめ：女性からのプロポーズも視野に彼との未来を考えよう
男性の結婚願望と年収の相関性を調べた今回の調査では、以下のことが分かりました。

・年収が低いほど結婚願望が低く、年収が高いほど結婚願望も高い傾向
・結婚に前向きになれない理由は、年収によって傾向に違いがある
・年収１００　２９９万円男性は「高収入の女性」が理想
・年収３００　４９９万円男性は「お金も時間も束縛しない女性」が理想
・年収５００　６９９万円男性は「経済的・精神的に自立した女性」が理想
・結婚願望が低くても、彼女からのプロポーズに応じる男性は少なくない

「結婚願望がない」男性を彼氏に持つ女性は、上記のような結果を踏まえて、自分が相手の理想の女性に近づく努力をするのか、それとも彼との関係を見直すのか考えてみても良いかもしれません。

ただ今回のアンケートで分かったのは、男性自身に結婚願望がない場合でも、女性からのプロポーズに応じてくれる男性が少なくないということです。もし今付き合っている彼氏との結婚を望むのならば、彼からのプロポーズを待つだけでなく、自分からプロポーズすることを視野に入れてみるのも悪くなさそうです。

この記事を参考に、男性の結婚願望の有無に合わせて、結婚への条件をクリアしたり、アプローチしたりすることで、幸せへの一歩を踏み出してくださいね。

【調査概要】
調査方法：インターネットアンケート
調査対象：20～40代前半の独身男性
アンケート母数：177名
実施日：2021年11月12日 ～11月15日
調査実施主体：縁結び大学（https://jsbs2012.jp/date/）
調査会社：株式会社ネクストレベル

■縁結び大学はこんなメディアです■

【運営会社】
株式会社ネクストレベル
https://next-level.biz/
横浜・福岡にてWebメディア運営とシステム開発事業を展開。
『最新のマーケティング技術を用いて社会発展を目指す』をミッションとし、2008年の設立より婚活関連のマーケティングを始め、常に最新のマーケティングを取り入れ、多くの情報を発信。

【運営メディア】
マッチングアプリ大学
https://jsbs2012.jp/
縁結び大学
https://jsbs2012.jp/date/
マリピタ
https://jsbs2012.jp/maripita/
ミライのお仕事
https://jobseek.ne.jp/

【姉妹サイト：マッチングアプリ大学】
マッチングアプリランキング
https://jsbs2012.jp/matchingapp/review/mami0016.html
婚活アプリランキング
https://jsbs2012.jp/marriage/knowhow/konkatu_rank.html
再婚活アプリランキング
https://jsbs2012.jp/marriage/second/saikon_konkatsusite.html

Generated by ぷれりりプレスリリース
https://www.prerele.com